# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ http://www.echigo.ne.jp/~nma/



会　長　阿部信一
TEL　025-273-1572

事務局　佐藤　博
新潟市江南区亀田水道町1-1-31
TEL　025-381-8141

会報編集委員会代表
遠藤俊一
新潟市西区青山1-13-28
TEL　025-265-4181


## 平成29年新年会が開催される

恒例の新年会が、平成29年1月28日（土）午後3時30分から上越市ホテルハイマート直江津において開催された。県下各地から23団体58名の岳友が集まった。

阿部信一会長から「まずは昨年の9月の日山協主催の中高年安全登山指導者講習会東部地区を無事終了させたことについて、関係された方々への謝辞があった。

8月11日にはじめて実施された山の日について、7月25日の第62回弥彦山たいまつ登山祭を本会ではその記念行事として実施した。多くの参加があり、ご協力に感謝の意を表した。今年以降も引き続き記念行事として実施するので、多くの加盟団体から是非参加して欲しいと呼びかけた。

2020年東京オリンピックにスポーツクライミングが競技種目となった。統括する日本山岳協会は日本山岳・スポーツクライミング協会へと名称変更する。

県内の選手の活躍も素晴らく、岩手国体では、少年男子がリード競技5位、ボルダリング競技で7位と入賞した。また、田中修太選手や栗田湖有選手はワールドカップ中国大会への出場権利を得て、栗田選手は7位と健闘した。東京オリンピック出場目指して頑張っていただきたい。

今年春には、新潟百名山の改訂版が出版される。執筆に携わっていただいた方々に謝意が表された。

最後に、この1年安全で楽しい登山が出来ることを祈念するとの挨拶があった。

続いて、長岡ハイキングクラブ杉本敏氏が昨年の11月永年の自然保護活動が認められ藍綬褒章を受賞されたことが披露され、杉本敏氏からご挨拶をいただいた。

その後、橋本正巳顧問の御発声により開宴。各地区から参集した大勢の山仲間の交流や情報交換が賑やかに行われた。広い県内で日頃疎遠になりがちだが、お酒が入るほどに交流の輪が広がり、賑やかさも増しあっという間に終了の時間を迎えた。

名残は尽きないが、遠藤家之進正和顧問の気合の入った万歳三唱でお開きとなった。

# 糸魚川大火義援金を糸魚川市に贈呈

会長　阿部　信一

昨年12月の糸魚川市の大火被災者を支援しようと加盟団体に呼び掛けた義援金は、18加盟団体から178，870円、14名の個人から61，000円の合計239，870円が集まりました。

平成29年3月24日、地元の猪又定次氏（いりやま山岳会）、中村光信氏（いりやま山岳会）、本間政一氏（糸魚川山岳会）の3氏が協会を代表して糸魚川市長へ贈呈致しました。市長から感謝の気持ちが伝えられました。

皆様のあたたかいご協力に感謝申し上げますと共にここにご報告いたします。

（米田市長へ贈呈）

# 残雪期安全登山講習会を終えて

遭難対策委員長　井　春文

3月12日、南魚沼市坂戸山に於いて、残雪期安全登山講習会を行いました。

昨年は小雪のため場所を威守松山に変更して行ったが、リベンジの今年は程よい積雪で好天の好条件の下開催することができた。

講師に新潟県警遭難救助技能指導官、玉木大二朗氏、参加者は29名。コースは一般ルートを避け寺ヶ鼻から西に派生する尾根から寺ヶ鼻尾根経て山頂。下山は薬師尾根のルートを選んだ。

雪は当日未明からの冷え込みで、かろうじて締まってくれた。4班編成でアイゼンを装着し、長尾政景公墓所より取り付く。

読図、歩行術、残雪期の注意点などを講習、300m付近の稜線上にてセルフビレイ、確保方法などロープワークの実技を行った。

ここからワカンに変え頂上を目指す。頂上では玉木大二朗氏よる講話、長野県の防災ヘリ事故の経緯、遭難経験者がその後現場を見に行き再び遭難をした話など、興味深いお話を頂いた。

展望がよく守門岳から苗場山、鳥甲山方面までぐるりと見渡しての昼食後下山。初級から上級者までの参加となり楽しみながらの講習会となった。

講師の玉木さん、阿部会長、楡井理事長、遠藤編集委員長にはお忙しい中ありがとうございました。また参加して頂いた皆さんお疲れ様でした。

内容的には不備な点があったと思いますが、何か残るものがあれば幸いです。またこの山は、正月を含め一年を通じて多くの人が登っています。マンサクから始まり多くの花も見られます。機会があったらまたお越しください。ありがとうございました。

## 参加者の感想

新潟山岳会　植木　聡明

山岳会に入り半年になります。安全登山講習会ということで、登山の基本を学びたく今回の講習会に参加させていただきました。

坂戸山へは初めてで、晴天にも恵まれ登山口に到着するまでに、すでに周囲の山々に感動するばかり。心が踊ります。

講習会には約30名が4班に分かれ出発。用意された地形図を手にコンパスを使いながらの読図。これから次の地点までどのくらいの距離があり、どのくらいの登りになるかなど読み取りながら歩き、危険を予測しながらのルート

ファインディング。
　途中ロープワークの実技や雪山の歩き方、雪山の怖さも教わりながら楽しい山登りで山頂を目指しました。
　山頂では３６０度のパノラマに改めて山登りの魅力を感じ、疲れもどこかにすっ飛んでいました。
　あっという間に時間が経ち、とても充実し、勉強になった講習会になりました。またこのような講習会がありましたら参加させていただき、これからも長く長く山登りの魅力にはまっていければいいなと思いました。
　講師の皆様、参加された皆様、ありがとうございました。

## 平成２８年度　第２回理事会議事概要

日　時　　平成29年１月28日（土）午後１時40分～午後３時まで
場　所　　ホテルハイマート直江津（上越市中央１-２-３）
出席者　　25名（役員26名のところ20名出席、過半数により理事会成立）
　　（顧問・参与15名のところ４名出席、監事１名出席）
開　会　　会長挨拶

議　事

**１　新潟新100名山・ゆっくり50選について**

「新潟新100名山」は、執筆担当や地区担当者による校正を２月３日までに終えて４月には出版される予定である。また「ゆっくり50選」はすでに原稿はそろっているが新潟日報事業社で写真の補足撮影を行い５月の連休明けに出版予定である。「登山ポスト」の設置の再確認をしたいと考えているところである。（佐久間副理事長）

**２　中高年安全登山指導者講習会（東地区）について**

９月23日から25日までの三日間、中高年安全登山指導者講習会東部地区が新潟市西区赤塚のメイワサンピアと角田山を会場に開催された。受講者は47名でうち県内参加者は９名、ほかに講師やスタッフなどで10名ほど、県山協からは22名が参加して総勢80名弱の規模の講習会となった。概要をまとめた報告書はすでに各加盟団体に送付してある。なお、来年は静岡県での開催予定。ご協力ありがとうございました。（楡井理事長）

**３　三条おいらく山岳会の新規加盟について**

三条おいらく山岳会（会員数約170名）が平成29年４月から入会したいとして入会申請書が提出された。理事会では満場一致で入会を承認した。（楡井理事長）

**４　日本山岳協会の名称変更について**

日本山岳協会は、昨年11月の臨時総会で「日本山岳協会」から「日本山岳・スポーツクライミング協会」への名称変更を決議した。2020年の東京オリンピック開催にあたり「スポーツクライミング」という名称を協会名に加える必要があると判断したことによるもの。日本山岳協会の八木原会長の強い意向もあり、各都道府県の山岳連盟（協会）からの反発があったが、最終的には賛成多数で承認された。具体的には来年４月からの改称となるが、各山岳連盟（協会）の名称が連動することはない。当然ながら新潟県山岳協会の名称変更はない。（阿部会長）

理事：阿部会長は臨時総会でどういう立場をとったのか。

会長：基本的には反対するつもりだったが、オリンピック競技ではスポンサーとの関係もあり日山協幹部の苦悩も垣間見えた。フリークライミングをやっている人と山岳競技には大きな乖離がある。今後のことを考え最終的にはやむを得ないものと判断して賛成の立場をとった。

理事：日山協の常務委員会に出席している立場からひとこと。国体の山岳競技は既にスポーツクライミングのみとなっている。今回の名称変更を受けて国体の「山岳競技」という名称も変わる方向になるのではと思う。

理事：オリンピック選手は日本山岳・スポーツクライミング協会の推薦になるのか。

理事：そのとおり。選手登録を日山協にすれば誰でもなれる。加盟団体への加入は条件ではない。

会長：日本山岳協会の名称変更はすでに決定されている。また選手登録は個人的なことだが組織としてどのように関わるのかはこれからの問題。少年男女とも成績を残して活躍中である。協会としても応援したいが費用面では課題が多い。

**５　各委員会の活動報告について**

（１）総務委員会

賛助会員は31名となった。本日、新年会を予定通り開催する。（宮崎委員長）

（２）指導技術委員会

公認指導者登録更新のための義務研修に安全登山研修会と自然保護研修会を登録した。今後の実施事業としては２月18日～19日に冬山講習会を開催予定である。毎年６月に日山協が実施している指導技術委員会で「義務研修」の取扱いが厳しくなっていると説明されている。引き続き留意してほしい。（堀口委員長）

（３）遭難対策委員会

秋に実施している安全登山研修会講習会・救急法講習会は、９月に「中高年安全登山指導者講習会」が実施されたため中止とした。今後は３月12日に積雪期の安全登山講習会を開催する予定だが、積雪の状況で会場を「坂戸山」から「八海山」に変更する可能性がある。また、参加者のなかで指導員資格を持っている人は申込書に印を付けてほしい。（井委員長）

（４）自然保護委員会

11月22日の新潟県との懇談会は新山協ニュースに載せたので見てほしい。門内小屋の屋根補修は雨漏り修繕のみで、来年は本格修繕になる。以東岳の小屋は基礎工事が行われ小屋の建設は来年になる。日山協の自然保護委員と環境省の自然公園指導員で不公平があるという意見があった。12月27日、飯豊保全の幹事会で来年９月11日～12日あたりに種蒔山近辺で実施されることとなった。また飯豊の保全活動で効果が上がっているのは御西岳、梶川下部、天狗ノ庭である。一方、梶川上部や玄山道では改善どころか悪化しているので今後はこちらの方へ集中したらどうかとの意見があった。今後も継続することになるので皆さんの参加をお願いしたい。（伊藤委員長）

昨年、更新して日山協の自然保護指導員は47名となった。登録数は全国４位となっている。（坂野副委員長）

写真展は12月にふるさと村、３月からホテルセンチュリーイカヤ「学びの館」、４月関川村で実施、その後には県庁西回廊を予定している。皆さんからの出品をお願いします。（本間参与）

ALways Security OK
ALSOK
新潟綜合警備保障㈱
〒950－8633　新潟市東区小金町1－17－20
TEL 025－274－1965　FAX 025－271－3445

魚沼の里
www.uonuma-no-sato.co.jp

八海山
魚沼の酒
www.hakkaisan.co.jp

（５）競技委員会

12月12日の県体協のオフシーズンヒアリングで、今年度の大会結果やジュニアの育成状況などを報告するとともに来年度の強化費に関する説明を行った。あわせて少年男女が海外大会で好成績を残しているので補助について県体協に検討を依頼した。また、２月５日に平嶋元（Ａ級ナショナルルートセッター）を招いて福井で国体及び国体移行選手の講習会を実施する予定である。（今井委員長）

（６）ジュニア委員会

９月以降の活動はない。（稲田委員長）

（７）海外登山委員会

小林委員長は欠席。来年度の東北地区海外登山で小林委員長と新潟山岳会の白倉穂高が「Ｋ２」に行く予定になっている。（阿部会長）

（８）会報編集委員会

11月30日に新山協ニュース327号を発行。１月号は印刷中で間もなく発送予定。経費の執行状況は印刷費143,637円、発送料77,162円で合計220,799円となっている。（遠藤委員長）

**６　山の日制定記念「オリジナル手ぬぐい」の決算について**

当初、４色400枚を作製したが、その後に追加があり作成枚数は550枚。単価が１枚600円と割高だったが完売した。北信越から配分された補助金４万円を加えて精算したが８千円ほど一般会計からの持ち出すこととなった。（佐藤事務局長）

**７　その他**

（１）新潟県体育協会表彰、新潟市体育協会表彰

①新潟県体育協会表彰が１月21日に行われ、スポーツ功労賞に阿部会長、公認スポーツ指導者賞に森副会長、優秀競技者賞に田中修太選手の三名が受賞した。今後、受賞者の推薦は常務理事会などで事前に意見を聴取して決定することにした。（楡井理事長）

②新潟市体育協会表彰は、２月９日にジュニア優秀競技者表彰受賞として少年女子の「栗田湖有」を表彰する予定である。（阿部会長）

（２）北信越ブロックの担当について

北信越ブロックの各担当は年度ごとに決まっている。平成29年度は日山協理事が新潟、北信越国体は福井、競技委員会ブロック研修は新潟、５県連絡協議会は長野となっている。また、平成30年度は新潟が引き続き日山協理事（２年交代）、北信越国体は新潟、競技委員会ブロック研修会は石川、５県連絡協議会は長野となる。この年に福井国体が開催されるので福井は北信越国体に引き続きの開催となる。（佐藤事務局長）

（３）提案、質疑

○この度、糸魚川市が大火に見舞われた。糸魚川地区は県山協の歩みの中で重要な役割を果たし現在も継続されている。県山協の関係者で被災した方はいないが、先例により義援金の募集を提案す

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー
Mountain & Outdoor Parr Mark
パーマーク
長岡市西宮内2-97（長岡市役所裏通り）
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30～PM8:00水曜定休
http://www.parrmark.co.jp

登山・スキーの専門店
ヒトと地球のインターフェイス
ICI石井スポーツ
新潟店・長岡店
新潟店　新潟市中央区堀之内南1丁目16-52　TEL(025)241-5134㈹
営業時間／10:00～19:00
長岡店　長岡市古正寺町110　TEL(0258)89-6901
営業時間／11:00～20:00（火曜定休日）

る。（七澤参与）

理事長：加盟団体に呼びかけて義援金を募りたいと思う。来週に送付予定の新山協ニュースに趣意書と払込用紙を同封する。

○役員の任期がこの３月で切れる。次の体制について何も提案がないまま終了することになるが、会長の考えを聞きたい。（遠藤常務理事）

会長：現在調整中である。いろいろ相談することになるのでよろしくお願いしたい。

以上で終了となった。

## ご存知ですか

**日本山岳協会山岳共済会の山岳遭難・捜索保険**

登山中に遭難し捜索・救助費用が発生したときや登山中にケガをしたときなどを補償します。（加入タイプによって補償内容が変わります）

詳しくは「日本山岳協会山岳共済事務センター」へお問い合わせください。

営業日　月～金　10：00～17：00（土、日、祝祭日除く）

〒170－0013　東京都豊島区東池袋３－７－11－707

℡　03－5958－3396　Fax　03－5958－3397

ホームページ　http://sangakukyousai.com

## 賛助会員御入会・御入金のお礼

次の皆様から、御入会、御入金を頂きました。（１月１日～３月20日）（敬称略）

松尾　弘（矢筈山岳会）

御協力ありがとうございました。

**新潟県山岳協会　会　長　阿部信一・理事長　楡井利幸・総務委員長　宮崎幸司**

**平成29年度賛助会員入会受付中　お申し込みは事務局へお願いいたします。**

**今後の行事予定**

平成29年３月25日（土）　第３回理事会　（長岡市　さいわいプラザ）

平成29年４月15日（土）　平成29年度評議員会・懇親会（長岡市　ホテルニューオータニ）

## 編集後記

▲三寒四温、ここ新潟もようやく春めいてきた。白と黒の世界であった山々にも、マンサクが咲き始め、小鳥のさえずりが聞こえるようになってきた。気持ちもなんとなくうきうきしてくる。

▲今年の冬は、山雪型であったようだ。里の雪は少ないが山の上部はそれなりの積雪となっている。春山を楽しむにはもってこいだ。

▲３月中旬、天気予報がまあまあであったので、守門大岳へ行ってきた。高度を上げるにつれて、次第にガスが濃くなり、冷たい風が吹き付ける。

▲頂上付近は、１～２ｍ位の視界で周囲の様子がよくわからない。先に登っている人もいるはずだが全く見えない。雪庇の張り出しも具合が分からず、早々に引き返す羽目となった。

▲下って振り返れば、皮肉なことにガスも取れて、真っ白な雪をまとった山頂がくっきりと見えている。早朝からの登山が裏目に出てしまった。後ろ髪を引かれる思いでの下山となった。

（遠藤　記）